

2009年3月期 決算説明会

2009年5月13日

FIELDS CORPORATION

すべての人に最高の余暇を

フィールズ株式会社

JASDAQ:2767

2009年3月期 決算の概要

■ 総括	4
■ 2009年3月期 実績(P/L)	5
■ 2009年3月期 会計年度末(連結B/S) (要約)	6
■ 2009年3月期 セグメント別状況	7
■ 2009年3月期のポイント – PS事業	8
■ 参考:パチンコ・パチスロ遊技機 エヴァンゲリオンシリーズ	9

2010年3月期 通期業績見通し(連結)

■ 2010年3月期のポイント	11
■ 2010年3月期 通期業績見通し(連結)	12
■ 中期経営計画の目標値の再設定について	13

グループ事業戦略

■ グループ事業戦略	15
■ グループ事業戦略(5年後のあるべき姿)	16
■ 5年後のあるべき姿を実現するための重要ファクター	17
■ 5年後のあるべき姿を実現するための重要ファクター 例①	18
■ 5年後のあるべき姿を実現するための重要ファクター 例②	19

2009年3月期 決算の概要

■ 総括	4
■ 2009年3月期 実績(P/L)	5
■ 2009年3月期 会計年度末(連結B/S) (要約)	6
■ 2009年3月期 セグメント別状況	7
■ 2009年3月期のポイント – PS事業	8
■ 参考: パチンコ・パチスロ遊技機 エヴァンゲリオンシリーズ	9

TOPICS	I	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中期経営計画スタート ⇒ 連結営業利益250億円を目指す
	II	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業績 (1) 新機軸タイトル「CR七人の侍」を投入、映像エンタテインメント創出の実績に (2) パチスロ機「新世紀エヴァンゲリオン～約束の時～」の販売好調、約9万台販売 (3) パチンコ機「CR新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～」が4月納品へ (4) D3によるゲーム事業不振の影響 (5) グループ事業再編等に伴う特別損失の計上
	III	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多くの経営資源を中核事業であるパチンコ・パチスロ分野に集中 → 「パチンコ・パチスロ分野とのシナジー発揮に時間を要する事業」や、「オンリーワンカンパニーを目指す戦略的育成事業以外への投資」等を一旦抑制、整理 (1) グループポートフォリオの再構築を積極的に実施 → 100%子会社2社を吸収合併、1社を解散・清算実施 (2) バンダイナムコゲームス社による、D3の株式公開買付けに応募し、成立・終了 → バンダイナムコゲームス社:今後両社の強みを生かした事業面での協力体制構築を検討中
	IV	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内部統制の基盤構築、企業行動規範の制定／コンプライアンスの徹底 ■ 年間配当4,500円の実施(予定)

PS・フィールド: 大型タイトルの販売時期見直し ゲーム・フィールド: D3の事業不振、D3のTOB応募

()は売上高各利益率 (単位:億円)

連結	2008年3月期		2009年3月期				
	通期実績	通期期初計画	2Q累計実績	3Q累計実績	2月12日 ^① 通期修正計画	通期実績 ^②	2/12 ^{②/①} 修正計画比
売上高	1,018.1	750.0	415.9	650.5	730.0	730.3	0.04%
営業利益	131.5 (12.9%)	100.0 (13.3%)	32.5 (7.8%)	60.8 (9.3%)	22.0 (3.0%)	19.6 (2.7%)	△10.9%
経常利益	117.0 (11.5%)	100.0 (13.3%)	30.2 (7.3%)	56.0 (8.6%)	13.0 (1.8%)	9.9 (1.4%)	△23.7%
当期純利益	52.9 (5.2%)	53.0 (7.1%)	8.4 (2.0%)	16.5 (2.5%)	△18.5 (-%)	△14.8 (-%)	-%

■ 個別の修正要因に加え、主にD3の業績低迷(4Qにさらに販売落ち込み、為替差損)による影響

■ グループポートフォリオの再構築に伴う特別損失発生の影響(D3のTOB応募による関係会社株式売却損、関係会社整理損等)

個別	2008年3月期		2009年3月期					
	通期実績	通期期初計画	2Q累計実績	3Q累計実績	1月13日 ^{*1} 通期修正計画	2月12日 ^① 通期修正計画	通期実績 ^②	2/12 ^{②/①} 修正計画比
売上高	827.5	550.0	343.5	510.3	500.0	520.0	531.4	2.1%
営業利益	126.3 (15.3%)	95.0 (17.3%)	56.3 (16.4%)	76.6 (15.0%)	25.0 (5.0%)	36.0 (6.9%)	38.1 (7.2%)	6.0%
経常利益	124.6 (15.1%)	95.0 (17.3%)	54.9 (16.0%)	96.5 (18.9%)	45.0 (9.0%)	55.0 (10.6%)	58.4 (11.0%)	6.2%
当期純利益	41.5 (5.0%)	53.0 (9.6%)	32.2 (9.4%)	54.0 (10.5%)	30.0 (6.0%)	10.0 (1.9%)	11.4 (2.2%)	14.5%

■ 4Q投入予定であった「CR新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～」が4月納品開始に

■ 3Qに持分法適用関連会社(ロデオ)からの受取配当金約20億円を計上

2009年3月期 会計年度末(連結B/S) (要約)



(単位:百万円)

	2008年 3月末	2009年 3月末	増減	主な増減内容
流動資産合計	39,559	25,135	△14,424	売上債権の減少、たな卸資産の減少
(現金及び預金)	12,841	11,181	△1,660	
(たな卸資産)	4,013	963	△3,050	ゲーム事業の仕掛品の減少
固定資産合計	29,609	26,929	△2,680	
(有形固定資産合計)	8,093	10,898	2,805	支店建設予定地の購入等による増加
(無形固定資産合計)	3,937	2,761	△1,176	D3該当分ののれんの減少
(投資その他の資産合計)	17,578	13,268	△4,310	投資有価証券の評価差額の減少
資産合計	69,168	52,064	△17,104	
流動負債合計	19,322	7,547	△11,775	遊技機買掛金等の減少、短期借入金の減少、未払法人税等の減少
(短期借入金)	3,398	-	△3,398	D3該当分等の減少
固定負債合計	3,514	5,021	1,507	社債による増加
負債合計	22,836	12,568	△10,268	
純資産合計	46,331	39,496	△6,835	利益剰余金の減少、少数株主持分の減少
負債純資産合計	69,168	52,064	△17,104	

※連結子会社であった D3社のTOBが成立・完了したことにより、同社のPL、CF、株主資本等変動計算書は連結し、BSは連結外となっております。

2009年3月期 セグメント別状況

- PS・フィールド : 「CR新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～」の販売時期見直しの影響
- ゲーム・フィールド : D3の海外事業において、4Qの販売がさらに不振に
- Webサービス・フィールド : (モバイル)堅調な推移

(単位:百万円)

	2008年3月期				2009年3月期			
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
売上高	24,234	64,648	77,485	101,818	7,321	41,590	65,051	73,035
PS・フィールド	21,093	58,715	65,343	82,763	4,197	34,957	52,501	55,724
ゲーム・フィールド	2,223	4,140	8,851	14,528	1,904	4,127	8,751	12,593
① スポーツ・フィールド	-	-	-	-	961	1,977	2,995	3,589
映像・フィールド	-	-	-	-	26	30	72	73
② Webサービス・フィールド	-	-	-	-	-	-	-	1,609
その他・フィールド	989	2,144	3,875	5,919	394	771	1,212	56
消去又は全社	△ 72	△ 352	△ 585	△ 1,393	△ 163	△ 274	△ 480	△ 612
営業利益	2,322	7,822	5,988	13,158	△ 3,312	3,252	6,082	1,960
PS・フィールド	2,540	8,623	6,873	12,747	△ 1,562	5,569	7,712	4,031
ゲーム・フィールド	12	△ 359	△ 414	952	△ 1,112	△ 1,619	△ 926	△ 1,289
① スポーツ・フィールド	-	-	-	-	△ 169	△ 342	△ 437	△ 537
映像・フィールド	-	-	-	-	△ 488	△ 522	△ 514	△ 503
② Webサービス・フィールド	-	-	-	-	-	-	-	455
その他・フィールド	△ 228	△ 439	△ 454	△ 516	65	152	261	△ 176
消去又は全社	△ 1	△ 1	△ 15	△ 24	△ 44	14	△ 13	△ 19

① 第1四半期より従来の「その他フィールド」は、「スポーツ・フィールド」「映像・フィールド」「その他・フィールド」と新たにセグメントを分けています。

② 第4四半期より「その他・フィールド」から、「Webサービス・フィールド」と新たにセグメントを分けています。

PS・フィールド

- 市場環境: 洞爺湖サミットへ配慮した入替自粛、入替特需の反動によるパチスロ販売台数の減少
パチンコ設置台数が増加
- パチンコ遊技機 (上半期3機種、下半期3機種) ビスティ製「CR七人の侍」: 約8万台販売
- パチスロ遊技機 (上半期2機種、下半期3機種) ビスティ製「新世紀エヴァンゲリオン～約束の時～」: 約9万台販売

(単位:台)

	2008年3月期				2009年3月期			
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期計	1Q	2Q累計	3Q累計	通期計
P販売台数	27,774	38,585	81,266	273,981	53,237	137,539	192,085	202,525
S販売台数	57,375	173,503	190,982	210,553	5,360	79,293	122,542	128,680
合計販売台数	85,149	212,088	272,248	484,534	58,597	216,832	314,627	331,205

パチンコ遊技機

1Q **低射幸性タイプとしては約5万台販売の大型ヒット**

■ CRA新世紀エヴァンゲリオン プレミアムモデル

2Q **新機軸タイトル第1弾 新たな映像エンタテインメントとして約8万台販売実績**

■ CRAモーニング娘。 ■ CR七人の侍 [2Q計上: 6.5万台 3Q計上: 1.6万台]

3Q

■ CRバーチャファイター ■ CRキング・コング ■ CRミスティックブルー

4Q **投入予定であった大型タイトル「CR新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～」に関わるスケジュールが遅延、販売戦略を見直し ⇒ 4月納品開始**

パチスロ遊技機

《 TOPICS パチスロ遊技機「新世紀エヴァンゲリオン」シリーズ 》

1st 2005.09 新世紀エヴァンゲリオン 《23,000台》

2nd 2007.07 新世紀エヴァンゲリオン～まごころを、君に～ 《99,000台》

3rd 2008.09 新世紀エヴァンゲリオン～約束の時～ 《約90,000台》

■ ソニックライブ

■ 新世紀エヴァンゲリオン～約束の時～

■ 天地を喰らう

■ 回胴黙示録カイジ2

■ キング・コング

前期と比較し 厳しいパチスロ市場のなか 約9万台販売の大型ヒット
[2Q計上: 7.2万台 3Q計上: 1.8万台]

3Q パチンコ・パチスロ 市場ニーズの多様性に合わせ ゲーム性の高い遊技機を投入

出所: フィールズ

©GAINAX・カラー/Project Eva. ©Bisty
©UP-FRONT AGENCY/FIELDS ©Bisty
黒澤プロダクション ©三船プロダクション ©BP/PC/FIELDS ©Bisty
©SEGA. ©Sammy
Universal Studios' King Kong movie ©Universal Studios.Kong The 8th Wonder of the World™ Universal Studios.
Licensed by Universal Studios Licensing LLLP. All Rights Reserved. ©Bisty

©ワンエイトプロモーション ©FIELDS ©Bisty
©SEGA. ©Sammy ©Rodeo
©本宮ひろ志/集英社/FIELDS ©Sammy ©RODEO
©福本伸行/講談社 ©Sammy ©RODEO

Copyright 2009 FIELDS CORPORATION All rights reserved.

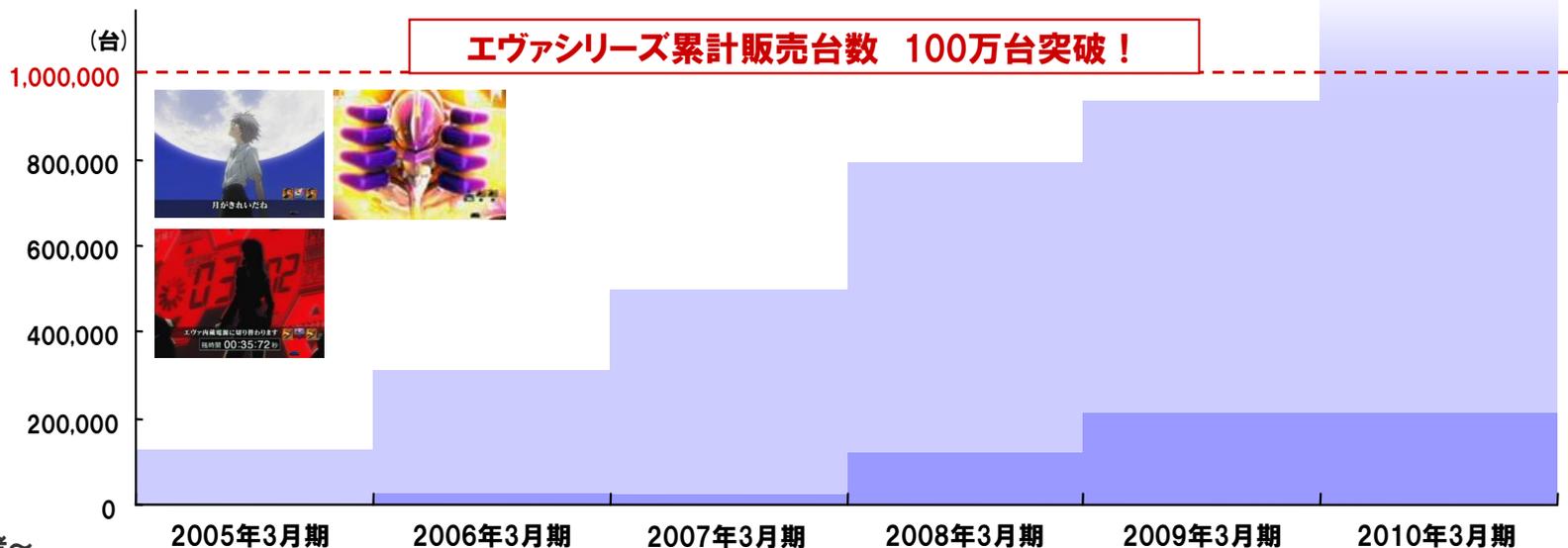
参考：パチンコ・パチスロ遊技機 エヴァンゲリオンシリーズ



CR新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～

エヴァシリーズ累計販売台数

パチンコ販売台数 パチスロ販売台数



	2005年3月期 (初代)	2006年3月期 - 2nd - セカンドインパクト <2006年2月>	2007年3月期 - 3rd - ～奇跡の価値は～ <2007年2月>	2008年3月期 - 4th - ～使徒、再び～ <2008年1月>	2009年3月期 プレミアムモデル <2008年5月> [低射幸性タイプ]	2010年3月期 - 5th - ～最後のシ者～ <2009年4月>
パチンコ遊技機	 125,000台	 161,000台	 187,000台	 200,000台	 50,000台	 50,000台
パチスロ遊技機		(初代) <2005年9月> 23,000台		- 2nd - ～まごころを、君に～ <2007年7月> 99,000台		- 3rd - ～約束の時～ <2008年9月> 90,000台

出所: フィールズ

©GAINAX/Project Eva. ・テレビ東京
©GAINAX ・カラー/Project Eva.
©GAINAX ・カラー/Project Eva. ©Bisty
©カラー ©カラー・GAINAX ©Bisty

Copyright 2009 FIELDS CORPORATION All rights reserved.

2010年3月期 通期業績見通し(連結)

- 2010年3月期のポイント 11
- 2010年3月期 通期業績見通し(連結) 12
- 中期経営計画の目標値の再設定について 13

■ パチンコ・パチスロ関連

PS事業

- ホール経営は、パチンコ遊技機を中心とした営業形態が引き続き拡大するものと予測
- 市場環境への的確な対応及び意思決定・業務執行の迅速化に資するため、組織変更を実施
⇒ 企画及び開発機能をさらに強化
- ビスティ製「CR新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～」を投入 ⇒ 同シリーズの最高販売台数を見込む
- パチンコ遊技機は「新機軸タイトル第2弾」の投入を計画、パチスロ遊技機は多機種投入
- 京楽産業. との提携第1弾商品は創り込みを優先し、2011年3月期に投入へ

■ グループ関連

グループ事業

- 時間消費型余暇市場にてパイオニアとして躍進するための成長基盤の構築
- スポーツ、アニメ、モバイルなどの各分野において、収益基盤を確立
- 収益の早期改善により連単倍率1.0倍以上を実現

■ 経営

経営

- 中期経営計画を再編成
- グループ・ガバナンスの強化に向けた施策の実施 ⇒ グループへの投融資実行・撤退基準の徹底
- 多くの経営資源を中核事業であるパチンコ・パチスロ分野に集中
⇒ 「パチンコ・パチスロ分野とのシナジー発揮に時間を要する事業」や、「オンリーワンカンパニーを目指す戦略的育成事業以外への投資」等を一旦抑制、整理
- 企業文化醸成・意識改革の推進 ⇒ 内部統制の徹底、企業行動規範に則った事業活動、CSR活動推進

配当予想

- 経営の基本方針である「株主重視」の実現
- 2010年3月期 配当予想
⇒ 利益に応じた適正な配当を基本方針
⇒ 1株につき年間配当4,500円（中間配当2,000円、期末配当2,500円）

ポイント

- 新機軸タイトル第2弾のパチンコ遊技機投入／人気シリーズ遊技機投入による拡販
- 売上高:D3の株式売却に伴う非連結化
- グループ事業の収益の早期改善により連単倍率1.0倍以上を実現

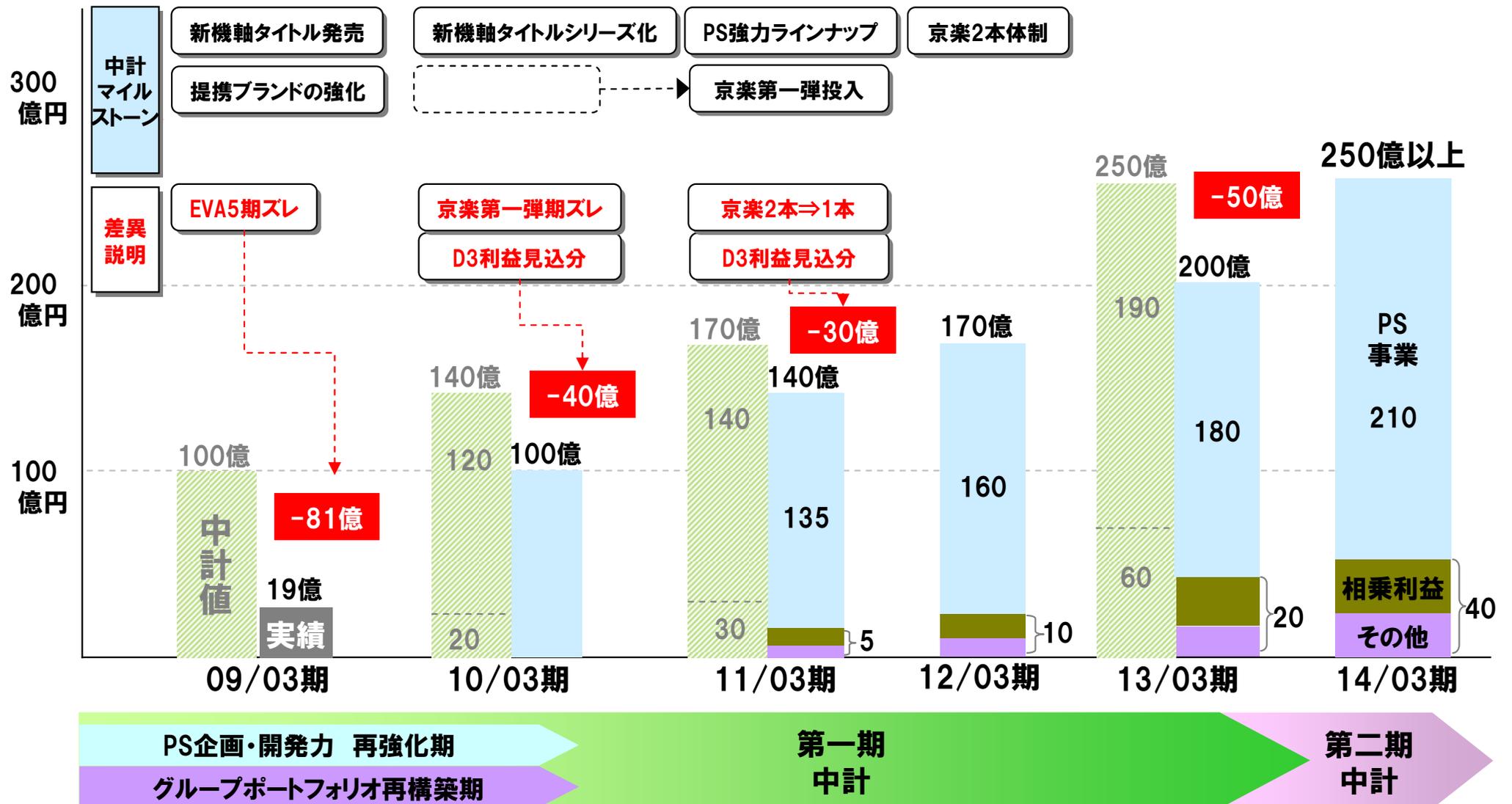
()は売上高各利益率 (単位:億円)

連結	2009年3月期	2010年3月期				
	通期実績	上半期計画	下半期計画	通期計画	前年同期比(増減)	前年同期増減率(%)
売上高	730.3	220.0	480.0	700.0	△ 30.3	△ 4.2%
販売費	220.6	90.0	95.0	185.0	△ 35.6	△ 16.1%
営業利益	19.6 (2.7%)	45.0 (20.4%)	55.0 (11.4%)	100.0 (14.2%)	+ 80.4	410.2%
経常利益	9.9 (1.4%)	45.0 (20.4%)	55.0 (11.4%)	100.0 (14.2%)	+ 90.1	909.1%
当期純利益	△14.8 (-%)	19.0 (8.6%)	26.0 (5.4%)	45.0 (6.4%)	+ 59.8	-%

中期経営計画の目標値の再設定について

2014年3月期 250億円以上目標

※グループ・協業利益20%寄与目標



グループ事業戦略

- **グループ事業戦略** 15
- **グループ事業戦略(5年後のあるべき姿)** 16
- **5年後のあるべき姿を実現するための重要ファクター** 17
- **5年後のあるべき姿を実現するための重要ファクター 例①** 18
- **5年後のあるべき姿を実現するための重要ファクター 例②** 19

第一期 中期経営計画 策定時

■ 映像ビジネスを軸とした

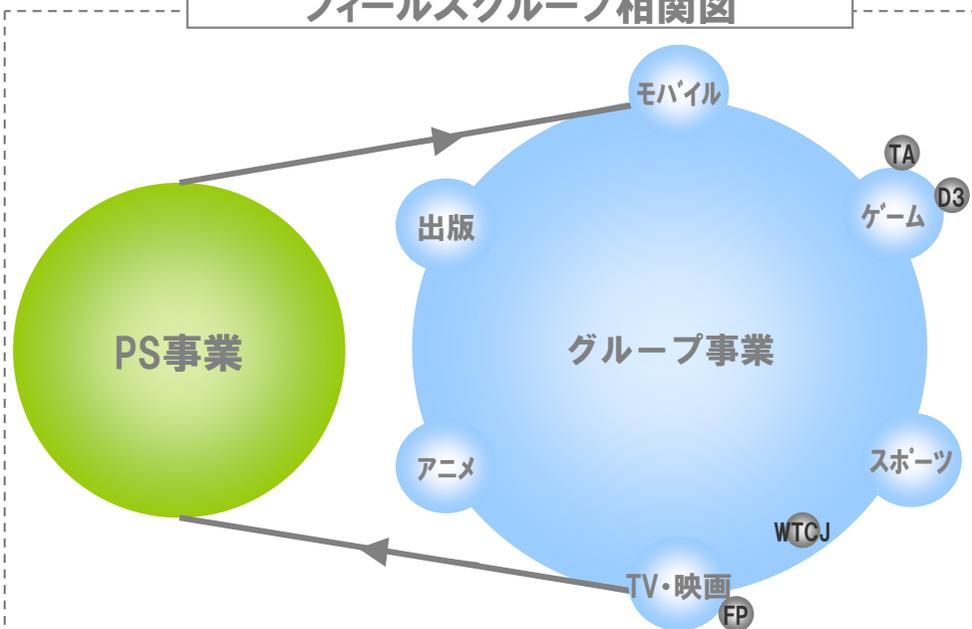
- ① PS化のための優良著作権取得機能
- ② マルチユース展開による収益拡大
- ③ 各メディアへの積極投資による一次コンテンツの創出

第一期 中期経営計画 1年を終えて

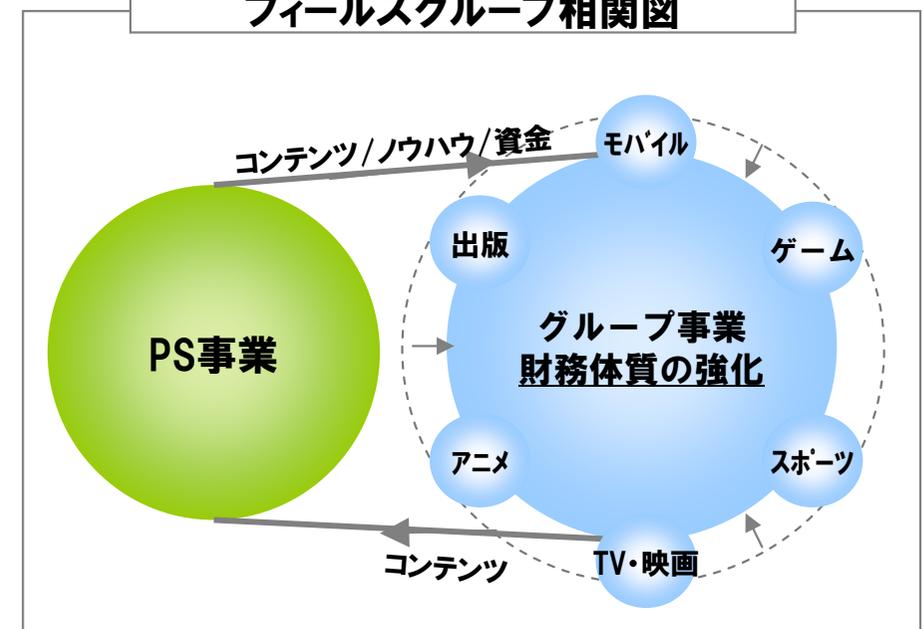
■ 映像ビジネス市場の悪化に伴いグループ企業の一部に財務体質の悪化が顕著化

- ① D3のBNGへの売却、TAの清算(ゲーム分野)*
- ② FPの吸収合併*
- ③ グループ委員会発足、各社の戦略について検討

フィールズグループ関連図

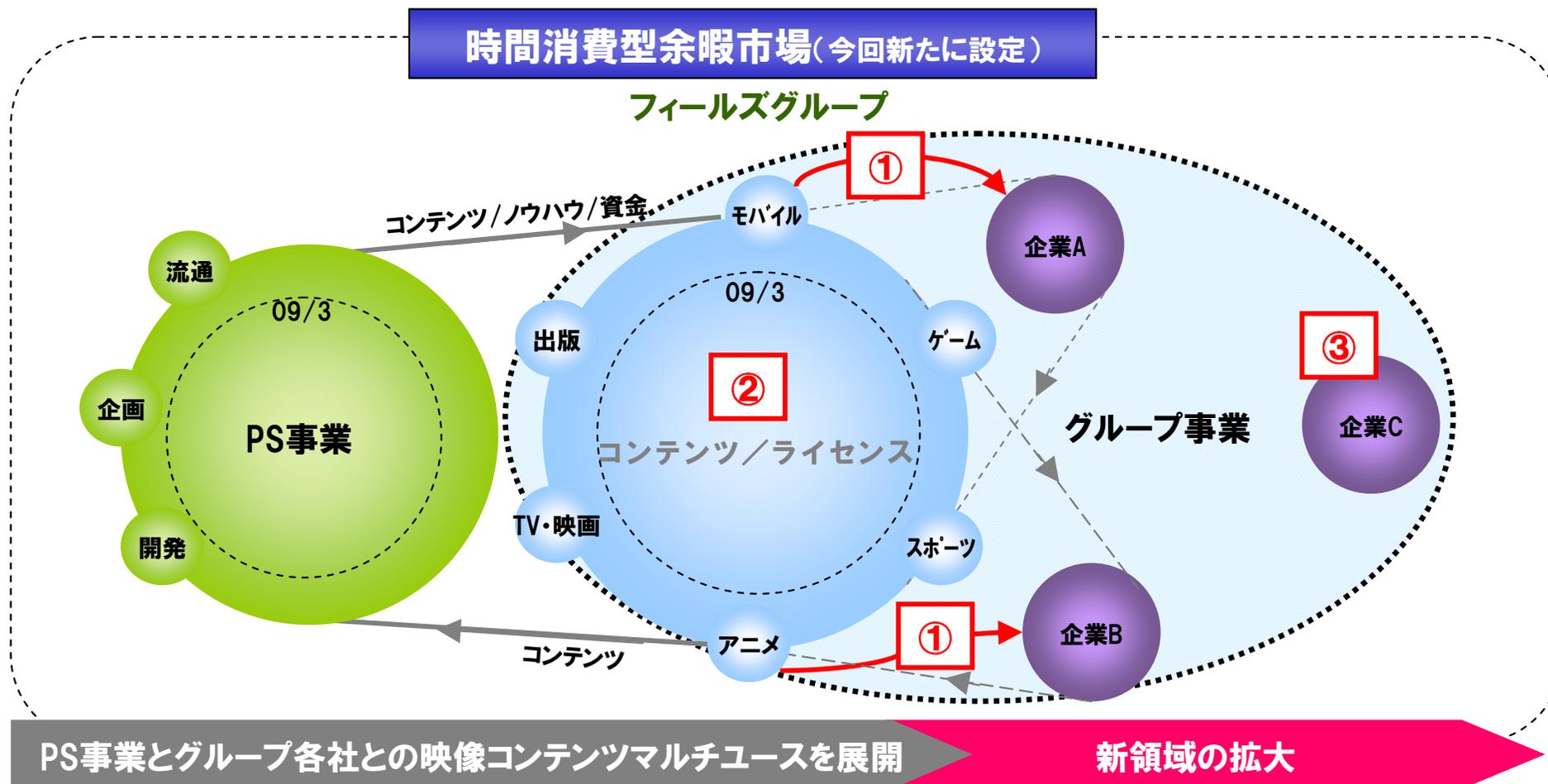


フィールズグループ関連図



グループ事業戦略(5年後のあるべき姿)

- ① PS事業と同様に、個社がキラーコンテンツを保有し、独立して事業展開が可能となるようコンテンツ、ノウハウ、資金供給を行い、将来の更なるコンテンツの還元を目指す。
- ② 提携・アライアンスを通して、グループ領域を拡大する。
- ③ 既存のグループ事業にはない新たなビジネスチャンスとなる領域に対し、提携・出資を行うことで、第一参加者としての利益を獲得する。



前提

- 時間消費型余暇市場に「最高のモノ」を提供する

現状認識

課題

- PS事業の収益力の強さを生かす「最高のコンテンツ」の創出・提供が急務

実現のために

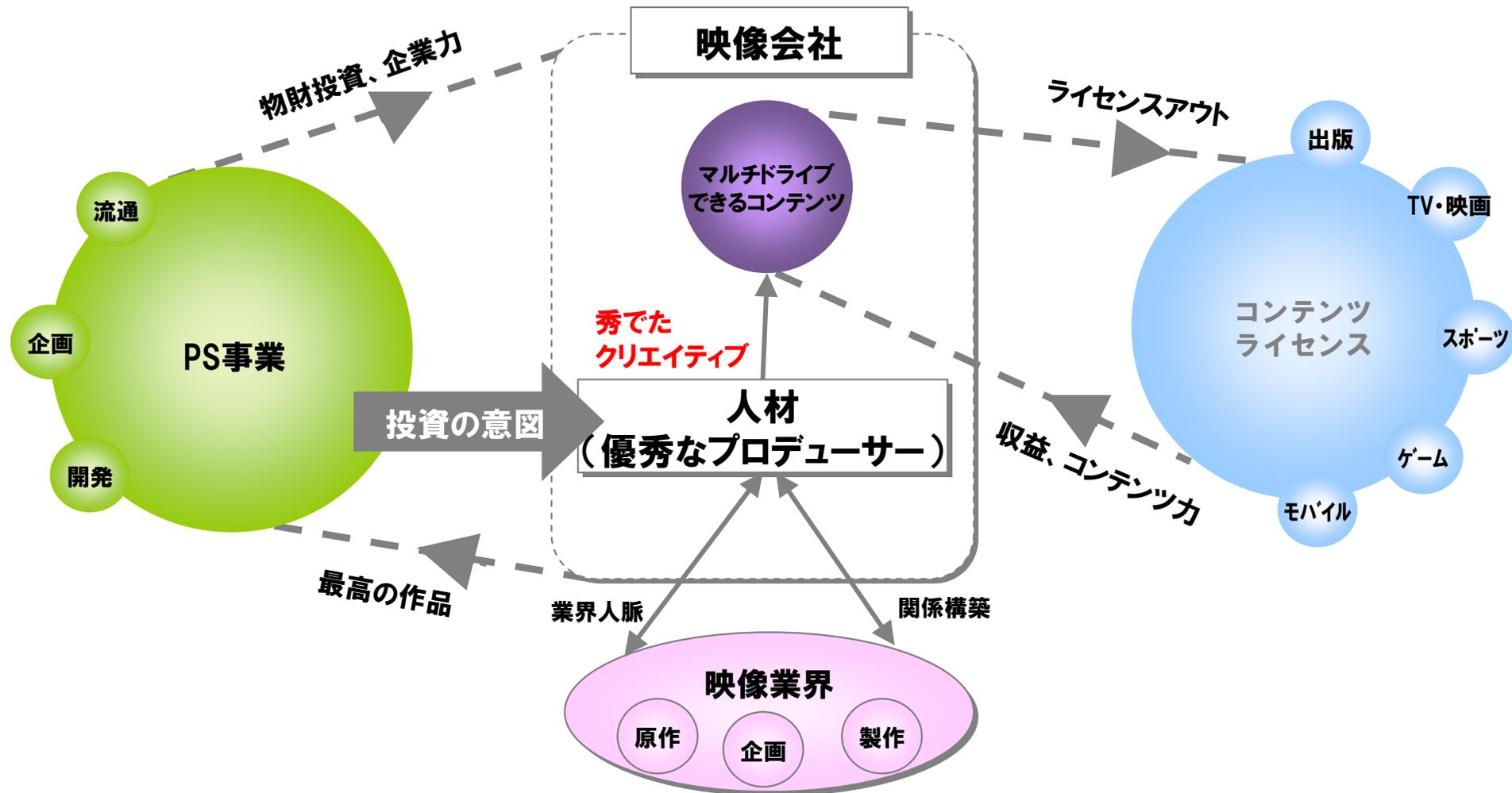
重要な ファクター

- ① 人材投資
⇒ 人材を活かすための仕組み作り
- ② 物財投資
⇒ 最高のコンテンツを保有する企業への投資、若しくはコンテンツへの直接投資

最高の商品を徹底的にマルチドライブすることにより収益を最大化する

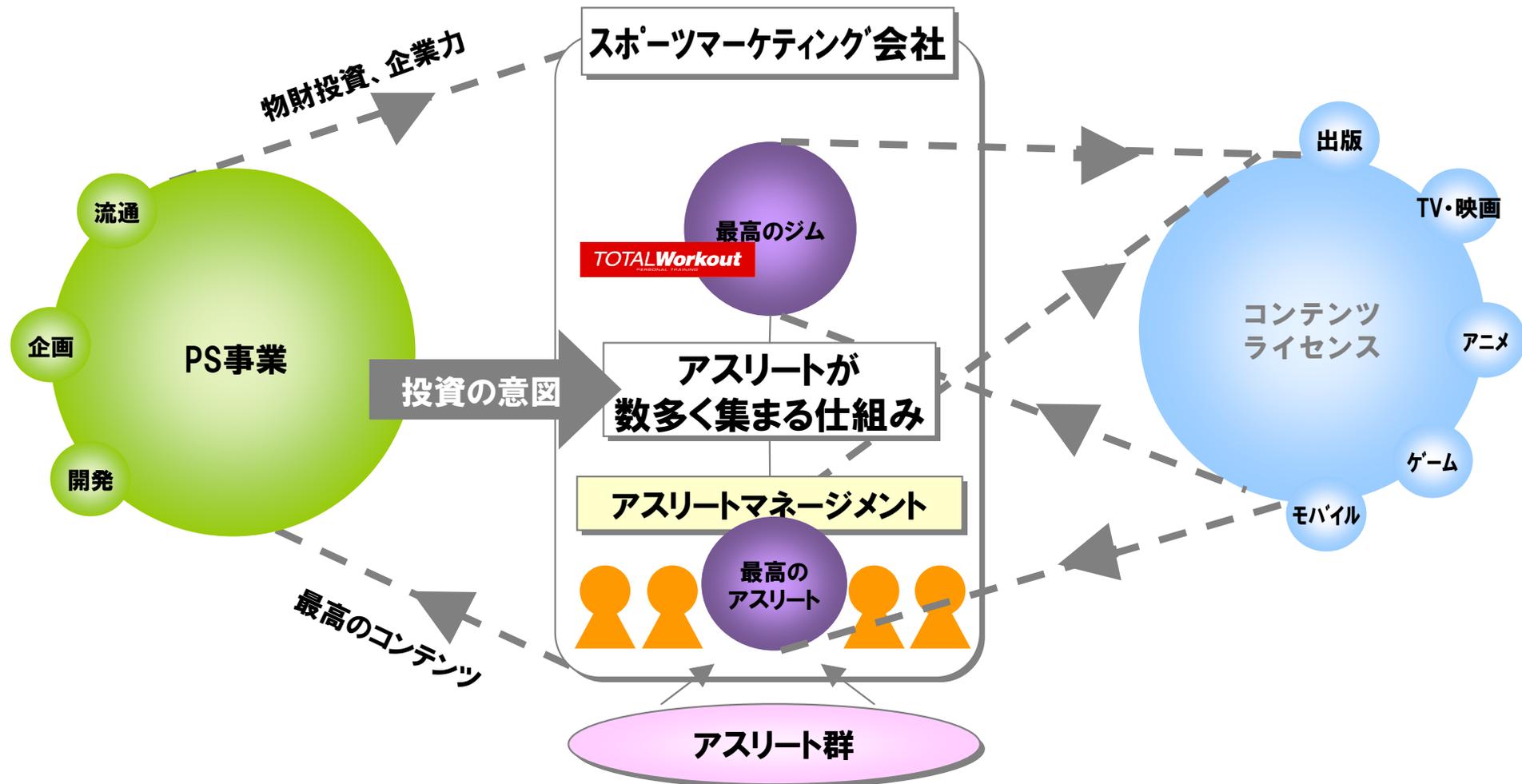
5年後のあるべき姿を実現するための重要ファクター 例①

- 優秀なプロデューサーを取り込むために物財投資、企業力の提供を行い、秀でたプロデューサー力を発揮してもらう土台を築き、最高の作品制作に邁進してもらう
- 最高のコンテンツをPS事業を軸に既存グループ企業へも徹底的にマルチドライブを展開する



5年後のあるべき姿を実現するための重要ファクター 例②

- 業界最高のスポーツジム、及びアスリートマネジメント機能を保有する企業に物財投資、企業力を提供する意図は「アスリートが数多く集まる仕組み」に対する投資という位置付け
- 最高のコンテンツを軸にPS事業、及び既存グループ企業へも徹底的にマルチドライブを展開する



IRサイトでは、投資家の皆様に、わかりやすく、使いやすい内容を掲載しております。ぜひ一度ご利用下さい。

< フィールズ IRサイト (株主・投資家情報) >

<http://www.fields.biz/ir/j/>

[企業ビジョン・成長戦略]

フィールズの企業ビジョン・成長戦略について、わかりやすくまとめています

[個人投資家の皆様へ]

個人投資家の皆様、初めてIRサイトにお越しいただいた皆様へフィールズについてより深くご理解いただけるよう、わかりやすくまとめています

[財務・業績情報 / フィールズについて / IRライブラリー]

財務・業績情報、フィールズの概要、IR資料等を、わかりやすくまとめています



[ジャスダック証券取引所] 2008年度IR優良会社に選定



[日興アイ・アール] 「最優秀サイト」に選定



[大和インベスター・リレーションズ] インターネットIRサイトの優秀企業に選定



本資料に掲載されている弊社の計画、戦略、予想などは、すでに確定した事実を除き、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。

潜在的リスクや不確定要素には、弊社の主たる事業領域でありますパチンコ・パチスロ市場を中心とした経済環境、市場における競争状況、弊社の取扱商品等が考えられますが、これに限るものではありません。

お問い合わせ先

- コーポレートコミュニケーション室 IR課
- TEL : 03-5784-2111
- E-mail: ir@fields.biz